

フェミナル

特集

ささえる、
つながる、
尼崎の女性たち

vol.54

■ CONTENTS ■

- P2~5 ささえる、つながる、
尼崎の女性たち
- P6 事業レポート
- P7 秋～冬の講座のご案内
- P8 女性相談・チャレンジ相談のご案内



キーワードを語る



「すべての女性が輝く」ために

森屋 裕子 (尼崎市女性センターテレビエ所長)

「女性活躍推進」がいわれ、大企業の取締役役に最低一人女性を登用しようとか、女性登用の数値目標の設定を義務づけようという論議が始まっています。今まで‘ガラスの天井’といわれる見えない壁にはばまれてきた女性たちにとって、歓迎すべき動きなのかと思います。

その一方で、働く女性の6割は、賃金が安く不安定な非正規労働者です。「昇進」を期待するどころか、職の維持に苦労しています。子育て・介護と仕事の両方を抱え、身動きできなくなっている人、育児不安に悩んでいる人もいます。DVや性被害に遭い、自己肯定感を失ってしまっている人もたくさんです。

いろいろな困難を抱える女性たちにとって、大切なのは政策的支援です。有期雇用と無期雇用の均等待遇の実現や両立支援、働きやすい職場づくり、子育て支援、DV・性被害を受けた人々に対する支援など、その重要性は強調しすぎることはないでしょう。

そして、そうした行政施策と呼応しながら、施策の足りない分を補いつつ、民間の女性(男性)たちが、その立場を活かして様々な支援を展開しています。身近なところから生まれるこうした支援は、どんなに大きな力になることでしょう。

めざすのは、「すべての女性が輝く社会」です。今号の特集では、「女性が輝く」社会をめざして活動し、自らも輝いている女性たちをご紹介します。

特集

ささえる、つながる、 尼崎の女性たち

女性の活躍・活用がいわれる昨今ですが、尼崎市では女性が中心となり、社会問題や女性問題をミッションとしてかけ、支援活動をしている団体や企業が数多くあります。

今号では、そんな団体・企業で活躍する女性3人を紹介します。活動内容はそれぞれ異なりますが、問題解決に向けて、まっすぐに行動する姿に勇気をもらえます。

女性の「働く」を支える

女性が働き続けるためには、どんな支援が必要なのでしょう。
病院やビルの清掃や、家事支援を行なっている(株)栄水化学では、女性が働きやすい柔軟な取り組みを実践しています。

インタビュー 長村 和美さん
(株)栄水化学 統括部長、女性のみらい研究室 室長



必要だからはじめた、働きやすい職場づくり

私が清掃の仕事に関心を持ったのは、出産し子育てが始まった途端に腱鞘炎になり、家事ができなくなってしまったためハウスクリーニングを利用したことがきっかけです。部屋の掃除だけでなく子どもの世話も手伝ってもらい本当に助かりました。

そんな時、当社がハウスクリーニング事業を立ち上げることを知り、人の役に立つ清掃の仕事をしたいと思い店長として入社しました。子どもはまだ1歳で、清掃業務や労務管理に関しては全くの素人でした。20人の女性スタッフが公平に気兼ねなく働くために、当時はワークシェアリングという言葉さえ知りませんでした。それぞれの幼稚園や介護などの予定を前もって提出してもらいシフトを組んでいました。また、介護をしなくてはならないスタッフには無期限で休職を認めるなど、働き続けてもらうために柔軟に対応してきました。

その後、同社で就業規則の作成や労務管理を担当することになり、誰もが働きやすい環境づくりを目指してきました。当社では、パートや正社員といった働き方の違いで仕事内容



を分けていません。能力があり、本人が望めば、パートであってもビルクリーニング技能士や病院清掃の国家資格を取り、責任者として働いています。

女性の働き方を、いっしょに考える

女性のみらい研究室室長としては、社内の女性社員のキャリア相談をはじめ、再就職を望む女性や、働く女性のキャリアカウンセリングも行なっています。主婦の方は、「子どもがいるから」「介護があるから」と、みずから諦めていることが多いので、「本当はこうなりたい」という思いを大切にしながら、就職活動の計画や準備を一緒に考えます。

また、「女性社員の活躍を望んではいるが、どうしたらいいかわからない」という悩みを経営者の方から受ける事もあります。女性社員へのアプローチの仕方やマネジメントノウハウ、女性社員研修、キャリアカウンセリングも行なっています。

当社は、清掃を通してお客様も社員もハッピーになることを目指しています。働く女性を応援するために、子どもに掃除を教える「エコピカはかせのおそうじ塾」も無料で始めました。「おそうじでハッピーに」。そんな思いを地域に広げていきたいと思っています。

(株)栄水化学 女性のみらい研究室

築地2-6-25
TEL 0120-573-577

子育てを支える

2014年7月に、武庫地区に新しく子育てつどいのひろば「どろっぷす」が開設しました。「つどいの広場」とは、乳幼児の親子が自由に気軽につどい、安心して遊んだり、保護者同士の情報交換や交流を行なうことのできる無料のスペースで、市内各地で子育てを支えています。

インタビュー 濱田 格子さん
NPO法人こどものみらい尼崎 代表



親子が気軽に安心してつどえる場

「どろっぷす」は武庫元町商店街すぐの場所で、2人のスタッフが常駐しています。開設して間もないですが、利用人数は平日で20組以上です。遊んだり、授乳したり、昼食時にはお弁当を食べたり、皆さんゆったりと過ごしておられます。土曜日には、抱っこひも姿のお父さんも珍しくありません。

私が子育て支援に関わるきっかけになったのは、神戸大学のサテライト施設「あーち」との出会いです。以前からカナダの「ドロップイン・センター」に関心があり、そのような場が神戸にできたことで、尼崎にも赤ちゃん連れのお母さんが安心して立ち寄れる場所を作りたいと思いました。2006年にコミュニティルーム武庫が開設され、そこで週1回の広場を始めました。

ちょうど少子化の危機感が追い風になり、子育て支援に対する理解が進み、予算化もされました。2007年に武庫之荘駅の南側で「つどいの広場こんぺいとう」を開設した頃は、「こんな場所があるとは知らなかった、助かった」という声が多かったです。今は、つどいの広場以外にもさまざまな子育て支援スペースがあり、自分たちのニーズに合った所を選んで利用されるようです。尼崎市にはつどいの広場10カ所のほか市立すこやかプラザもあって、



子育てにやさしい街です。お散歩や買い物の途中に立ち寄り、子どもを遊ばせたり、スタッフに気になることを相談したり、気軽に利用していただきたいと思います。

親としての自覚と自信を支える

スマートフォンが普及し、ますます情報は簡単に手に入るようになりました。あまりに多い情報の中で、何を選べばよいか迷ったり、わかっているけれどできないという悩みをよく聞きます。また、社会から取り残されているような焦燥感や孤独感を感じるお母さんも多いようです。

同じような悩みを持つ人と出会ったり、頑張っていることを認められる中で、少しずつ親としての自覚や自信が育つのではないのでしょうか。子育て中でも「何かしたい」という思いにも寄り添いながら、子育て家庭を支えていきたいと思っています。



どろっぷす

武庫元町2-12-1 フェルティ武庫元町2階205
TEL 06-6438-0116
火曜日～土曜日 10:00～15:00

性暴力にあった方への支援

2014年4月、尼崎市内に性暴力の被害にあった方を支える施設、性暴力被害者支援センター・ひょうごが開設しました。性暴力被害者のためのワンストップの支援を目指しています。

インタビュー 田口 奈緒さん
性暴力被害者支援センター・ひょうご代表/塚口病院産婦人科医師



神戸から尼崎へ 女性以外の性暴力被害者にも寄り添うために

兵庫県で初めてのワンストップ支援センターをめざし、2013年4月に神戸市内の、なでしこレディースホスピタル内に「性暴力被害者支援センター・神戸」をオープンしました。全国で5番目の開設でした。

支援をしていく中で、性暴力被害者の多くは子どもであることや、男性の被害者もいるという現実があり、子どもや女性以外の被害者にも寄り添うために、子どもの虐待問題に積極的に取り組んでいる、総合病院である県立塚口病院と連携することとなりました。センターを神戸から尼崎へ移し、名称も「神戸」から「ひょうご」に変更しました。

被害者の意思を尊重する

性暴力とは、本人の意思に反して性的なことを無理やり行なわれることです。その被害にあった方への支援の基本は、ご本人の意思を尊重することです。支援員は、ご本人の意思とペースが尊重された支援が受けられるように寄り添います。情報を提供し、一緒にゆっくり考え、ご希望があれば必要な支援につなぎます。

学校などに性教育の講演に行くこともありますが、日本では性に関する話題を「隠すべきもの」「恥ずかしいもの」として避ける傾向があります。性器の正確な名前もほとんど知らないし、婦人科を受診することも少ないですね。ですから、被害にあったときに体を診てもらうことをためらうことも多く、医療的な支援を受けるのが難しいこともあります。でも、こちらがきちんと説明し、体がどうなっているのかをわかっただけだと、安心される方が多いです。

経済的に困難な被害者へ「サポート・バック」

性暴力被害にあい、妊娠や性感染症の不安を抱えているのに、経済的理由で受診をためらったり、あきらめる方がいます。経済的な心配をせず、安心して受診しても

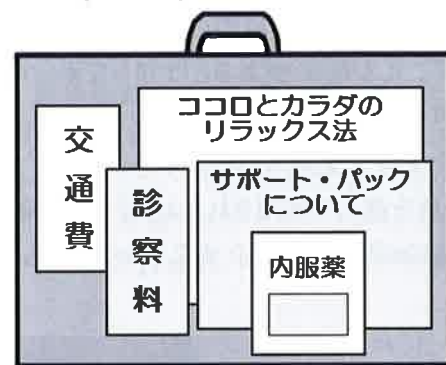
らえるように「サポート・バック」の提供をはじめました。

「サポート・バック」の内容は、緊急避妊ピルや抗生剤、初診時診察料、交通費など、被害直後の急性期に必要なものを提供しています。この「サポート・バック」はみなさんからの支援で成り立っています。今後も継続的なご支援をお願いします。

来年2015年には、兵庫県立尼崎病院と県立塚口病院の統合にともない、統合先である兵庫県立尼崎総合医療センター(仮称)との連携になります。連携先は変わりますが、引き続き尼崎市内で活動をしていきます。

性暴力被害者のための支援センターは、県内に一つしかなく、被害にあった方は、明石や加古川からも尼崎にやってきます。できれば県内にもう何か所か、西部と北部にも、被害者に寄り添うことができる施設ができればいいですね。

サポートバック(イメージ)



性暴力被害者支援センター・ひょうごホットライン

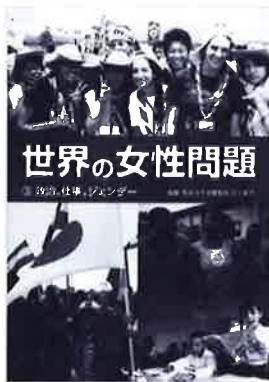
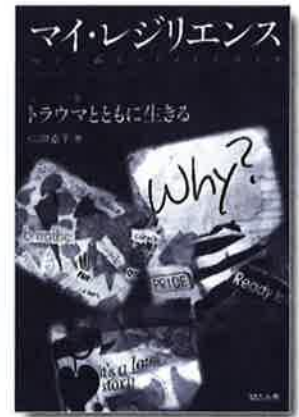
TEL 06-6421-0991
月曜日～金曜日 9:30～16:30

『マイ・レジリエンス ト라우マとともに生きる』

中島 幸子 著 梨の木舎 2013年4月

身体も心も傷を負えば、誰でもその痛みから解放されたい、それをなくしたいと願いますが、この本は「傷をかかえながら」生き抜くメッセージです。19歳から24歳までの4年半のDV、その後の生きづらさ、回復、その体験はやはり壮絶で苦しさが伝わりますが、一方で著者は自分の中にある力を信じ、回復(レジリエンス)の希望を失いません。1歩進んでも2歩後退する、良くなったと思ったとたん、崖から落ちるような辛さが襲う、それでも失われた自分自身を取り戻す事をあきらめません。トラウマを主題としていますが、人生の避けがたい困難や喪失に対峙する姿は、とても尊く、気高いものだと感じました。

最近「生き続けること」の意味を考える私に力をくれた一冊です。(Y)



『世界の女性問題
3政治、仕事、ジェンダー』

関橋 眞理 著
井上 輝子 監修
汐文社 2014年2月



『日本のジェンダーを
考える』

川口 章 著
有斐閣 2013年9月



『部長、その恋愛は
セクハラです!』

牟田 和恵 著
集英社新書 2013年6月

「防災・減災、復興に女性の力を」地域フォーラム

◆フォトボイス展～東日本大震災被災地の撮影者をかこむ集い～

11月30日(日) 10:00～12:00

◆ギャラリー展示 フォトボイス展

11月30日(日)～12月7日(日)

◆シンポジウム「未来へ伝える 女性たちの復興支援」

12月7日(日) 13:30～15:30

阪神淡路大震災から20年、地域防災を考えるシンポジウムを開催!

パネリスト 齊藤 容子(人と防災未来センター)
正井 禮子(NPO法人女性と子ども支援センター)
宗片 恵美子(NPO法人イコールネット仙台)

コーディネーター 清原 桂子(神戸学院大学教授)

会場 尼崎市女性センター・トレピエ ※参加 無料

「防災・減災、復興に女性の力を」実行委員会





男女共同参画週間事業／尼崎市女性センター・トレピエ40周年 記念誌発行記念講演会

浜矩子が語る!グローバル社会における女性のエンパワーメント

開催日 2014年7月5日(土)14:00～16:00

講師 浜 矩子(エコノミスト)

参加者 104人

編集サポーターによるレポート

開演15分前、蒸し暑く小雨が降る中、会場はまるでコンサートのよう期待と興奮でざわめいていました。

冒頭から、痛快でスカッとする浜矩子さん独特の切り口が飛び出します。「女性にエンパワーメントは不要。すでに日本女性は充分内発的な力を備えている。強き女性の輝きを押し殺すものを蹴散らかす事が必要」。逆説的ですが、このエンパワーメントこそ参加者を強く力づけます。

アベノミクスの問題点をズバッと切り、ユーモアを交えた明確な指摘に会場は何度も爆笑の渦となりました。お話には印象的なキーワードがたびたび登場します。「グローバルジャングル」「シェア(市場占有)からシェア(分かち合い)へ」「ドン・キホーテ」などの言葉が深い理解を助け、方向性を提示してくれました。

一貫して「人間本位の経済」を説く浜さんの姿勢が、私の心を熱くし、むくむくと力が湧いてくるのを感じました。(Y)



全国女性会館協議会 地域研修事業

女性/男女共同参画センター情報提供事業(図書)担当職員のための専門研修

図書実務担当者のためのステップアップ研修

2014年8月22日(金)・23日(土)

参加者 28人

1日目

8月22日(金)13:00～17:30

I研修「書店の戦略 人と人をつなぐ」

講師 福嶋 聡(ジュンク堂書店難波店店長)

II研修「女性情報総論 現場の課題解決のために」

講師 尼川 洋子(人と情報を結ぶWEプロデュース)

2日目

8月23日(土)10:30～15:30

III研修「情報提供のレベルアップ!女性/男女共同参画
センター情報スタッフのインプット法とアウトプット法」

講師 渡邊 斉志(国立国会図書館関西館総務課課長補佐)

IV研修「魅力的な図書室づくり 少ない予算で工夫しよう」

講師 角本 勢津子(兵庫県立男女共同参画センター・
オープン情報アドバイザー)



秋～冬の講座・セミナーのご案内

詳細は開講日のおおむね1ヵ月前に広報チラシ、ホームページ、市報あまがさきなどでお知らせします。なお、開催時期、講座の名称などは変更する場合があります。また、応募が最少催行人数に満たない時は中止する場合があります。

	講座名・内容	開催日	受講料	保育
男女共同参画セミナー！講座	読書でリラックスタイム	毎月1回第3木曜日 10:00～12:00	無料	あり・無料
	母子家庭等の女性のためのPC基礎講座&就労セミナー	①10月3日～11月7日(金)全6回 13:00～16:00 ②2015年1月15日～3月5日(木)全8回 10:00～12:00	テキスト代 2,160円	あり・無料
	DVで悩んでいる女性のためのグループカウンセリング	10月10日～12月19日(金)全6回 10:00～12:00	無料	あり・無料
	働くママの時間管理術	10月23日(木)10:30～12:00	無料	あり・無料
	女性弁護士による離婚かも？お悩み相談	11月5日(水)13:00～16:30	無料	あり・無料
	アートセラピーによる心の解放 秋色コレクション	11月22日(土)13:30～15:30	材料費 500円	あり・無料
	2014あまがさき女性フォーラム	11月30日(日)10:00～15:30	無料	あり・無料
	ギャラリー展「フォトボイス 東日本大震災被災者女性からの発信」	11月30日～12月7日	無料	——
	「防災・減災、復興に女性の力を」地域フォーラム シンポジウム「未来へ伝える 女性たちの復興支援」	12月7日(日)13:30～15:30	無料	あり・無料
	尼崎市男女共同参画計画改定にむけた学習会 ～「防災・防犯等における男女共同参画の促進」 を中心に	2015年1月31日(土)13:30～15:30	無料	あり・無料
	RIFCR(リフカー・子どもの性虐待聴き取り)研修	2015年2月21日(土)9:30～18:30	未定	——
2015あまがさき女性フェスティバル	2015年3月7日(土)・8日(日)	無料	あり・無料	
スキルアップ・資格取得講座	チャレンジ支援パソコン講座入門コース (ワード・エクセル)	9月16日～10月21日(火・木)全10回 エクセル10:00～12:00 ワード13:00～15:00	各13,000円	あり・有料
	チャレンジ支援パソコン講座入門コース (パワーポイント)	10月28日～11月11日(火・木) 全5回10:00～12:00	7,500円	あり・有料
	チャレンジ支援パソコン講座応用コース (ワード・エクセル)	11月18日～12月11日(火・木)全8回 エクセル10:00～12:00 ワード13:00～15:00	各11,000円	あり・有料
	日商PC3級(データ活用)資格取得講座	9月12日～12月17日(水・金)全28回 10:00～12:00	32,160円	あり・有料
	FP2級資格取得講座	9月13日～12月20日(土)全15回 13:00～17:00	54,000円	あり・有料
	MOS2010エクセル資格取得講座	9月27日～11月29日(土)全10回 13:00～16:00	23,000円	あり・有料
	日商電子会計初級資格取得講座	未定	有料	あり・有料

2014あまがさき女性フォーラム 11月30日(日)10:00～15:30 参加無料 一時保育あり・無料

午前の部 ワークショップ①ひとり親世帯の子どもの貧困率 54.6% あなたなら、どんなことを考えますか？

講師 神原 文子 (NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ関西理事長)

ワークショップ②親の家を片づける

講師 澤田 有紀 (弁護士 弁護士法人みお綜合法律事務所代表)

ワークショップ③フォトボイス展 ～東日本大震災被災地の撮影者をかこむ集い～

講師 ゆのま え 知子 (NPO法人フォトボイス・プロジェクト共同代表) 被災地の女性撮影者

午後の部 全体会・映画&山上 千恵子監督トークショー 13:00～15:30

映画「潮風の村から ～ある女性医師の軌跡～」(ドキュメンタリー84分 2013年作品)



女性の悩み相談

女性がかかえる悩みの解決をお手伝いします。

- 夫婦、家族、職場での人間関係の悩みや生き方、就労などの悩みを女性の相談員がお聴きします。
- 法律相談はまず相談員に電話、もしくは面接で事前に相談をしていただいた後に、予約を行いません。

【相談専用 TEL:06-6436-8636】

相談の種類	相談日	時間帯	
一般相談	電話	水・金・土	
		10時～12時	
		13時～16時	
	面接 (要予約)	火曜日	18時～20時
			10時～12時
			13時～16時
木曜日	18時～20時		
	10時～12時		
	13時～16時		
法律相談 (要事前相談・要予約)	第1・2 木曜日	18時～20時	
		18時～20時(第3)	
	第3 土曜日	14時～16時	



女性のための チャレンジ相談

【完全予約制・無料】

働きたい、起業したい、資格を取りたい、
転職したい…
でも、何から、どうやって?

「チャレンジ相談」は、あなたの希望や不安をお聞きし、チャレンジへの第一歩をサポートする無料相談です。社会保険労務士・キャリアコンサルタントの資格を持つ女性の相談員が個室でアドバイスや情報提供を行いません。お気軽にご相談ください。あなたの未来が拡がります。

【TEL:06-6436-6331】

2014年 10月～ 2015年 3月 の相談日	10月	8日(水)・18日(土)・22日(水)
	11月	12日(水)・15日(土)・26日(水)
	12月	3日(水)・13日(土)・17日(水)
	1月	14日(水)・24日(土)・28日(水)
	2月	4日(水)・14日(土)・25日(水)
	3月	11日(水)・14日(土)・25日(水)

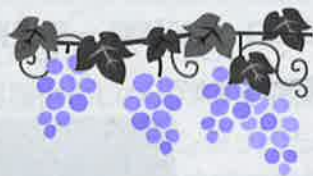
時間 ① 10:00～ ② 11:00～
場所 尼崎市女性センター・トレピエ

●保育ボランティアによる一時保育 ● 1歳以上未就学児まで (無料・要予約) 1歳未満、または小学生をお連れになりたい場合はご相談ください。

編集サポーターの山本康子さんが今号で卒業となります。フェミナル編集会議への参加や取材など3年間ありがとうございました。

ひとこと… 編集サポーター

フェミナルの編集会議に参加して約3年、今号で最後となりました。男女共同参画という少し硬い言葉が、だんだんと身近になり、自分自身の問いかけになりました。まだまだ不十分な理解ですが、社会を見る新たな視点ができたと感じます。また尼崎はおおらかで力強く、女性が柔軟にパワーを発揮できる地域だと改めて感じています。トレピエの所長はじめ職員の方々、取材や講座で出会った方々から多くの学びと支援をいただき、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。(Y)



●平成26年度男女共同参画市民企画講座が決定しました。「アートセラピーによる心の解放 秋色コレクション」(企画団体 DV被害者支援ネットワーク近畿)と、「女性弁護士による離婚かも?お悩み相談」(企画団体 法律事務所ユ

ノ)の2企画です。

●トレピエ1階ギャラリーで、月に1回、塚口のハローワーク尼崎マザーズコーナーの職業相談担当者が、女性のための仕事探し相談会を行なっています。お子様連れOK、予約もいりません。会場には、求人票も置いていますので、気軽にお立ち寄りください。(I)

